

# 事業優先順位設定手法 (NETIS:CG-060015-A)

株式会社 エイト日本技術開発 〒700-8617 岡山市北区津島京町3丁目1-21 (TEL. 086-252-8917)

キーワード：優先順位、客観的、透明性、意思決定、説明責任

## 1. 概要

本手法は、公共事業の点検、工事、補修箇所選定において、客観的データに基づく優先順位を設定する統計解析手法です。包絡分析法を応用した解析フローは、国民の視点を考慮した評価方法を可能にしました。解析結果は、定量的な根拠資料として、行政担当者の意思決定における客観性、透明性、説明責任の向上に寄与するものと考えます。

## 2. 特徴

評価の特徴を以下に示します。

### (1) 既存のデータによる評価が可能

解析に用いるデータは、評価する対象事業の優先度判定に必要な要因の組合せが必要となりますが、既存のデータがあれば、そのまま適用できます。算定のためにデータ作成するのが望ましいですが、コスト削減を考慮して既存データで評価した事例が圧倒的に多いです。

### (2) 評価解析条件の設定が不要

パラメータ設定等が不要なので、評価者の判断が入りません。解析に用いるデータがすべてを決定します。優先順位の評価に用いるデータの組合せが技術的に問題なければ、その後は誰が実施しても評価は同一となります。

### (3) 国民視点を考慮した評価方針

例えば、ある事業を実施して欲しいと要望します。要望する側（国民）は、該当箇所に都合のよい条件で評価して欲しいと考えるでしょう。包絡分析法を応用することで、箇所ごとの最適条件を算定します。優先順位は、その最適条件で他箇所と相対比較することで算定されます。要望する側の立場に立った評価を可能にしました。

### (4) 説明が容易

優先順位が低い箇所は、当該箇所において最適な条件で優先度が劣っていることを意味しています。それ以外の条件で検討すると、順位が下がることはあっても上がることはありません。『あなたにとって最も都合のよい条件でも、他の箇所の優先度が高いので、他の箇所から実施しています』という説明ができる基礎資料となります。

### (5) 分野・対象を問わず評価が可能

本手法は、統計学的処理に基づく優先順位の設定手法です。砂防、あるいは土木の枠組みを超えてどのような問題に対しても、検討が可能です。

## 3. 導入実績・関係各社の連絡先等

本手法は、新技術情報提供システム (NETIS) に登録された手法です。

評価実施件数は、30 件以上ございますので、その一部（一部略記）を以下に示します。

多治見管内砂防施設検討業務(中部地方整備局)  
六甲山系優先度検討業務(近畿地方整備局)  
道路維持修繕計画検討業務(中国地方整備局)  
仁淀川河道計画検討業務委託(四国地方整備局)  
筑後川・矢部川樋管等構造物補修計画(九州地方整備局)  
道路防災点検調査業務(内閣府沖縄総合事務局)  
急傾斜地基礎調査資料作成業務(北海道室蘭土木現業所)  
中村大王・桃原地区抑止工検討業務(中国四国農政局)  
矢作川総合第二期地区大規模地震対策事業(東海農政局)

この手法は、下に示す(3)までの大学・企業と共同開発を実施し、以下の企業を含め大いに利用されています。(株) エイト以外の連絡先を以下に示します。

- (1) 国立大学法人 山口大学工学部  
担当：古川浩平
- (2) 国立大学法人 香川大学工学部  
担当：荒川雅生 (TEL. 087-864-2223)
- (3) 中電技術コンサルタント株式会社  
担当：荒木義則 (TEL. 082-256-3347)
- (4) 西日本技術開発株式会社  
担当：大石博之 (TEL. 092-781-1454)
- (5) 八千代エンジニアリング株式会社  
担当：菊池英明 (TEL. 03-5906-0061)
- (6) 株式会社四電技術コンサルタント  
担当：松本幸太郎 (TEL. 087-887-2270)
- (7) 株式会社北海道技術コンサルタント  
担当：神原孝義 (TEL. 011-753-9098)
- (8) 株式会社シー・イー・サービス  
担当：正岡久明 (TEL. 011-855-3292)

### 【問合せ先】

株式会社エイト日本技術開発 担当 佐藤丈晴  
(TEL. 086-252-8917)